

CASBEE® 京都-新築

標準システム

■使用評価マニュアル：CASBEE京都-新築（2015年版）|使用評価ソフト：CASBEE京都-新築2015（v.1.0）

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)西洞院高辻プロジェクト	階数	地上5F
建設地	京都市下京区西洞院通仏光寺下る本柳水町782番	構造	RC造
用途地域	商業地域、準防火地域	平均居住人員	0人
気候区分	6地域	年間使用時間	0時間/年
建物用途	ホテル	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2019年3月	評価の実施日	2018年1月16日
敷地面積	636 m ²	作成者	湯浅勝也
建築面積	507 m ²	確認日	2018年1月16日
延床面積	2,484 m ²	確認者	湯浅勝也



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 0.7 ★★★★★

環境品質 G (0-100) vs 環境負荷 L (0-100)

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算 (kg-CO₂/年・m²)

①参照値	100%
②建築物の取組み	72%
③上記+②以外の	71%
④上記+	71%

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです。

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

Q1 室内環境: 2.5
Q2 サービス性能: 2.8
Q3 室外環境(敷地内): 2.2
LR1 エネルギー: 3.5
LR2 資源・マテリアル: 2.5
LR3 敷地外環境: 2.6

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q のスコア = 2.5

Q1 室内環境 (Q1のスコア= 2.5)

音環境	2.6
温熱環境	2.6
光・視環境	2.4
空気質環境	2.5

Q2 サービス性能 (Q2のスコア= 2.8)

機能性	3.0
耐用性	2.8
対応性	2.5

Q3 室外環境(敷地内) (Q3のスコア= 2.2)

生物環境	1.0
まちなみ	4.0
地域性	1.0

LR のスコア = 2.9

LR1 エネルギー (LR1のスコア= 3.5)

建物外皮の	4.0
自然エネ	3.0
設備システ	4.0
効率的	2.0

LR2 資源・マテリアル (LR2のスコア= 2.5)

水資源	3.0
非再生材料の	2.3
汚染物質	3.0

LR3 敷地外環境 (LR3のスコア= 2.6)

地球温暖化	4.1
地域環境	1.8
周辺環境	2.1

3 設計上の配慮事項		その他
総合 京都観光に来られた外国の観光客の方に「和」を感じてもらえるよう、外観、内装、客室内にも「和」を基調としたデザインにしています。		
Q1 室内環境 ・専有部分のサッシは遮音等級T-1を使用。 ・内装材にF☆☆☆☆を使用している。	Q2 サービス性能 京の町屋を模した格子・透かしを取り入れ歴史性へ配慮を行っている。	Q3 室外環境(敷地内) 旧市街地美観地区において認定を受けている。
LR1 エネルギー 太陽光発電を利用している。	LR2 資源・マテリアル 個別の給湯・空調とすることで、CO ₂ の削減に配慮している。	LR3 敷地外環境 道路面に植栽を配して、周辺への配慮をしている。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される